

Ⅲ 社会資本マネジメント方針

- これまでの投資により、築き上げられてきた一定の社会資本ストックは、今後、社会構造が変化したとしても、県民の安全で快適な生活の維持や様々な社会・経済活動を「支え」続けていく貴重な「宝」であることに変わりはありません。
- こうした「宝」が本県の「強み」となっている一方で、まだ整備が行き届いていない部分については、本県の「弱み」となっており、引き続き、整備していく必要があります。
- また、少ない投資で大きな効果を発揮し、機能を維持していくためには、今後も、これらの「宝」を有効に活用しながら、大切にしていける必要があります。

将来にわたって、県民の生活や企業活動を「支え」続ける「宝」を残していくために「宝」の強みを活かしながら磨き、「宝」を有効に活用し、「宝」を守り続ける。

1 社会資本整備の重点化

- 近年の厳しい財政状況を踏まえ、本県では、公共事業費をはじめ、様々な経費の縮減を行い、財政健全化に取り組んできました。こうした中においても、「選択と集中」により、緊急性の高い事業箇所や、早期供用に向けた投資効果の高い事業箇所への重点化を図ってきたところです。
- これまでの取り組みにより、一定の社会資本ストックが築き上げられてきたものの、一方では、まだ整備が行き届いていない部分もあり、今後も引き続き、改善していく必要があります。
- 依然として厳しい経済情勢が続く中、今後も財源不足は続く見通しであり、引き続き財政健全化対策に取り組む必要があります。
- こうしたことから、今後、更なる「選択と集中」により、限られた予算を効率的かつ効果的に活用しながら、「ひろしま未来チャレンジビジョン」が目指す姿の実現を支える社会資本マネジメントへ取り組む必要があります。
- そのためには、社会資本の現状等を把握した上で、まずは、これまで築き上げてきた「宝」が有する「強み」を活用し、磨いて伸ばすことをベースとし、その上で、不足する部分について重点投資していくことが最も効率的です。
- こうした観点から、「強み」を活かした短期集中戦略を積極的に展開し、「弱み」となっている部分についても、創意工夫を加えながら「弱み」を克服する長期継続戦略を展開し、更なる「選択と集中」に取り組んでいきます。
- また、ハード整備のみでは十分な対応が困難なものなどについては、ハードとソフト対策とが一体となった総合的な取り組みを進めていきます。

2 社会資本ストックの有効活用

- 貴重な資金を投じて整備された社会資本は、期待される効果を最大限に発揮できるよう、積極的に活用していく必要があります。
- こうした観点から、既存ストックの機能改善や運用改善、多目的利用、転用に取り組むとともに、ハードとソフト対策との一体的な取り組みを進めていきます。

3 社会資本の適正な維持管理

- これまで蓄積された社会資本ストックを今後も安全に活用し、機能を維持していくためには、適正な維持管理を継続していく必要がありますが、これらに要する費用は義務的経費として、経常的な負担になっています。
- また、今後、老朽化施設の集中的な更新や大規模な補修が必要になるため、計画的な維持管理を行う必要があります。
- こうした観点から、アセットマネジメントシステムを活用した計画的な維持修繕や、施設の長寿命化により、各年度の予算平準化と総費用の縮減を図るとともに、利用者の安全確保や、施設の機能維持に向けた適正な維持管理に取り組んでいきます。

